

特別支援教育推進通信

葛南教育事務所 特別支援教育班

各学年の初めに書く「自己紹介カード」や「〇学期の目標」「〇学期頑張ること」が教室に掲示されています。書いたカードをよく見ると、漢字を覚えることが苦手な子どもは「漢字を書けるようになりたい!」、文字が乱雑で書くことが苦手な子どもは「字をきれいに書きたい!」、友だちとのトラブルや喧嘩が多い子どもほど「友だちと仲良くしたい。友だちを沢山つくる。」と書いています。子どもたちは自分自身のことを良く知っています。苦手なことやできないことをできるようにしたい!と切に願っています。私たちは、アンテナを高くして子どもたちのメッセージに気づき、思いに寄り添いたいものです。

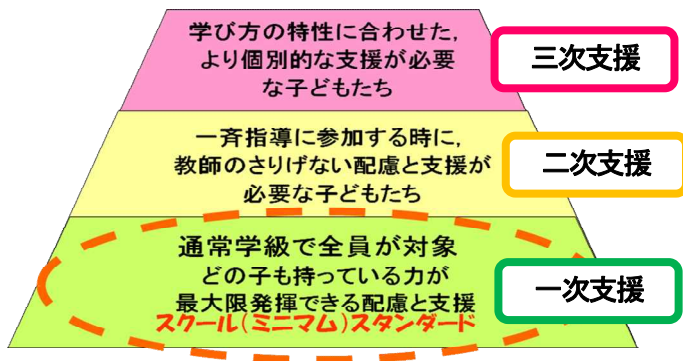
人間は、「できない」「わからない」(失敗を繰り返す場合、学習成果が出ない・学習をしても無駄だと考える状況、いわば失敗のループに陥ってしまう)状況に長くいると、何をやっても無駄だから…というやる気がなくなる「学習性無力感」になってしまうと言われています。

私たちは、勉強したい!できるようにしたい!という意欲のある個性豊かな子どもたちが、**今持っている力を最大限発揮できるような環境設定や準備**をして、学校生活づくりと授業づくりを進めていきましょう。

すべての子どもたちの

「できた」「わかった」のために!

ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが、安心して過ごせる学校環境づくりと、わかりやすい授業づくりを推進しましょう。「一次支援」の土台部分をしっかり固めると、個や特性に応じた支援も効果が上がります。まず、どの子にとっても役に立つ支援に学校全体で取り組みましょう。



一次支援

教室環境について

★教室内の整理整頓

★居心地の良い学級づくり

集中力UP
で学力向上

★情報は精選して刺激を減らす

教室は、とても大事な環境です。教室環境を見直し、整理整頓しただけでクラス全体が落ち着き、「授業に集中できるようになった」「生徒指導の成果があがった」という事例が多く報告されています。

学校全体で、ユニバーサルデザインの視点から環境づくりをすることで、学習に向かう姿勢が整います。**落ち着きと集中力は「学力向上」**にもつながっています。

支援① 黒板まわりの整理

黒板は掲示板ではありません。1時間の授業展開を分かりやすく**視覚化・構造化して板書する**為のスペースです。黒板には基本的に何も掲示しないようにしましょう。黒板全体が使用できるようにして、1時間毎、きれいに消して、授業をスタートさせてみましょう。

棚や壁も
できるだけ
すっきりと



刺激をできるだけ減らして、授業に集中！！



1時間の流れがよくわかる板書



支援② 整理整頓の方法を伝授！

～「情報」・「思考」の整理やプランニングができるように～

「整理整頓」はなぜ必要なのでしょうか？ 整理すると気持ちがいいから？なののでしょうか。

今、会社でも『5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)』が注目されています。身の回りの整理整頓ができる人 = 仕事もできる人と言われています。

子どもたちが「整理整頓」ができないのは、そのやり方を理解していない場合が多くあります。私たちは「きれいにしよう」「片付けなさい」と言うのではなく、「ここにファイルを並べましょう」「机の中は写真と同じに整理しよう」「机には教科書を出して筆箱は机の中にしまいましょう」と**具体的なやり方**を伝えていきましょう。整理の仕方・方策を教えることが大切です。先生の上も子どもたちの見本になっています。

金曜日は必ず全員で机の中をきれいに！
教室の先生の上もチェック！！



書写の時間：机の上に置くものをしっかり確認

今の時代は、モノも情報も溢れています。これらの**大量のモノと情報を整理整頓するスキル**が求められます。

情報の整理をして思考の整理をすると、『自分の知りたい情報を明確にし、整理し、他人に分かりやすく伝える思考の領域にも広がって行きます。また、整理の仕方を覚えると、自分に合った時間の使い方

テスト準備等のプランニングができるようになります。

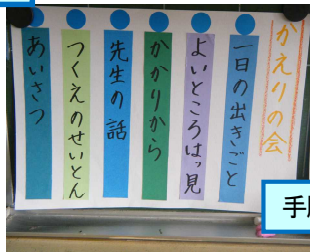


支援③ ルールは全員同じ。視覚化して確認を。

「指示をしたのにできない」「何度注意してもわからない」のは、どうしてでしょうか？言葉だけでは指示が通らないことも多くあります。学習のルールや約束は、目で見てわかるようにしておく、確認したり、振り返ったりすることができます。前もってルールや約束をわかりやすく示しておくことは、失敗経験を予防して学習活動の質の向上につながります。



- ①「0」静かにする、黙って聞くを確認
- ②授業で声の大きさを常に意識するように指標を活用



約束は、守って当たり前、できて当たり前ではなく、守っていたら、できていたら褒めるが基本。褒められるとやる気も UP!!

手順や予定があると、安心。自分で確認、活動できる。

支援④ 居心地の良い学級づくりのポイント！

～子どもの「見て！見て！」に応えよう～

セルフエスティームを高めよう

【セルフエスティーム (self-esteem) 自尊心】
自分の価値を評価し、自分を大切に思う気持ち

周りとの比較ではなく、作品・感想そのものの、良いところを言葉にして、伝えてあげましょう。セルフエスティームを高めるためには、この子の得意なところを引き出し、大いに認めていくことです。



中学生も自分に書かれたコメント・朱書は嬉しい！



成功体験の少なさ→「どうせ」→努力の拒否

悪循環を防いで、所属感と活躍の場を！

「認められた」→「やってみよう」

子どもたちの作品や感想には、思いがたくさん詰まっています。作品や感想に対して、私たちは評価をきちんとしているでしょうか。途中だったり、間違ったりしたままの掲示では先生は見えていないの？と感じてしまいます。朱書きやコメントは先生からの大切なメッセージを発信できる場所です。「先生はいつも見ているよ!!」と子どもの思いに寄り添っていききたいものです。

みんなが頑張ってるってステキだね、同じ気持ちで、マヤさんと同じ目標に向けて頑張ろうね、そして大活躍の時代が来ると思っています、みんなの行事で頑張ろうね、大活躍の時代が来ると思っています。